



# 早稲田大学 立川稲門会会報

2009年11月23日  
第14号  
発行 立川稲門会  
事務局 立川市富士見町  
4-7-16  
志村 順子  
電話 042-522-4763  
FAX 042-522-0612

この八年間、駕海会長の立川稲門会に対する情熱は、まっしぐらでありました。  
会員の親睦と母校への支援を、「ギブ」のボランティア精神で貫いてこられました。母校に関する資料やきめ細やかな報告をいただき、いつのまにか稲門会にぐいぐ

## 志村順子さん就任挨拶

## 担当制で活動力を強化

いと引き寄せられてきました。会長の長い間の大変なご苦勞と、ご努力に、ただただお礼申し上げます。  
その立川稲門会の会長という役目をお引き受けすることになりました。  
同じ早稲田で学んだというだけ

で、老いも若きも一同に会することが出来るのは、キャンパスの風景をどこかに共有していて、コミュニケーションに安心がもてるからです。母校の力はすごい。不思議です。だから、自分の時間と、もてる力で、母校に貢献できるのです。  
月に何回か校友会の会議に出席します。夜遅くまで大隈講堂前の階段に腰かけて談笑している学生たち。もし、ドラえもんの四次元ポケットがあったら、あのときめいていた頃にもどって階段に座ってみたいと思います。  
早稲田大学は二〇〇七年に一二

## 八年ぶり会長交代

このたび四期八年務めた会長職を退任し、志村順子さん(S40文)に引き継ぐことになりました。  
平成十三年十一月に就任してからの八年間は母校創立一二五周年記念事業募金期間とほぼ重なり、また昨年は、十一年ぶりの東京三多摩支部主幹稲門会として支部長

## 駕海量良さん退任の辞

## 誇り高い集団めざそう

を仰せつかり、あわせて2008稲門祭の主幹として、実行委員長には志村順子さんが就任、と目まぐるしい展開でした。  
記念募金額は一億五千一百万円で、大学の依頼額に対して七六五%の達成率(募金総額二百億円に対しては〇・七五%)と、全学で

断然トップの成績でした。また、活性度の指標ともいうべき総会出席者の市内在住校友千人に対する割合もほぼ六%(五%未満が圧倒的)と、東京三多摩支部傘下二十三稲門会の中で十五番目の規模ながら、全国の約四百ある支部や稲門会の中でも全分野でめざましい実績をあげて参りました。  
これは、校友相互の親睦を図り母校を支援することが、優れて稲門会の理念であることを十分に理解された皆さまの絶大なご支援とご協力があつたからであります。  
多くの団体や組織がその設立目的と理念をないがしろにし、活性

化や発展を阻害していることは世間をみれば明らかです。稲門会も例外ではありません。口先だけではなく、常にこのことを意識して行動することが肝要と思います。  
一方、稲門会を別の側面からみると、現役学生との交流も含め心意気、ハート、プライドの三つが大変重要であると言えます。それは私学早稲田だからです。  
早稲田だからこそ小賢しい言動や事なかれ主義を排し、いさぎよく(心意気)、庶民の気持ちをお忘れず(ハート)、周囲からみてさすが早稲田!といわれる行動(プライド)が必要でしょう。  
少なくとも世間は早稲田をそう見ているのではないでしょう。我が立川稲門会をみれば、昭和四十九年設立以来、近隣稲門会や

五周年を迎えましたが、校友会は来年二〇一〇年が一二五周年。立川のメンバーを含む校友関係者は記憶に残る祭典にしたいと今から張り切っています。稲門祭も同時開催です。来年はエンジの旗のもと、たくさんの校友でキャンパスが埋め尽くされるよう、立川のみなさんのご参加、切に願っています。校友会を互いに支えての稲門会ですから。  
校友会一二五年の歴史の中で、立川稲門会は今年三六回目の総会を迎えました。年度が改まって立川稲門会の精神は不変です。「会員の親睦と、母校の支援」この二つの大きな柱です。  
できれば担当を決め、それぞれが得意な分野で力を発揮しながら「立川」としては丸となって活躍していただきたい。そう期待しています。  
また校友会費の約半額は母校、学生の支援になります。他は我々校友のサービス等に還元されていますので、ぜひ校友会費納入にもご協力ください。  
過日の代議員大会では、現場の教授が授業の一端を披露してくれました。学生に寄り添う教育が窺え母校を身近に感じました。大学が努力するのは当たり前ですが、校友のできることは、早稲田の名声を維持するための支援と愛情です。  
他の地域稲門会の情報もまめに交換し、縦横のつながりを感じながら、なによりもみなさんと一緒に楽しめる稲門会になるよう努力してまいります。(S40・文)

大学への交通費はすべて自己負担です。支部大会参加費の全部または一部を稲門会が負担している稲門会は、全国でも東京三多摩支部が圧倒的に多い中で、立川稲門会はすべて自己負担に徹しながら、主幹稲門会を除く稲門会の中では参加者が一番多いのです。これは設立以来、先輩の方々が培って来られた早稲田らしい良き伝統であり、心意気とハートとプライドの発露でしょう。私たちは誇り高き稲門集団であるべきなのです。  
校歌の一節にある、理想は言葉を口にするだけでなく、着実に実現するのが早稲田です。今後も新会長のもと、立川稲門会がますます誇り高き稲門集団であるよう祈っています。長い間のご協力に感謝申し上げます。(S37・政経)

謝申し上げます。(S37・政経)



# 稲門会は出会いと交流の場

小林 章子

人は生まれてから、その一生を終えるまでに、いったい何人の人と出会い、どのくらいの言葉を交わすのだろうか。そしてその数量は、人にどのような影響を及ぼすのだろうか。

そんな研究をした学者がいたかどうかは知らないが、私は確信している。出会う人の数が多ければ多いほど、交わす言葉の量が多ければ多いほど、人の心に注がれる養分が増し、心の花が大きく育つ



写真は54年次稲門会創立総会の際。隣りは「行列のできる法律相談」の北村弁護士。同期だったらしいのです(笑)。

ていくのだと…。その人達、その言葉一つひとつが、早稲田という三文字でつながっていけば、いっそう高濃度な栄養に違いない。

この夏、おかあさんコーラスの全国大会に出場するために、開催地の松山に行った。宿泊したホテルに、なんと偶然にも早稲田と慶応の野球部も泊まっていたのだ。松山市制一二〇周年を記念して、松山・坊ちゃん球場で全早慶野球戦が行われるという。エレベーターで、選手数人と乗り合わせた。

「頑張つて！」と声をかけると、「ありがとうございます。」と爽やかな返事が返ってきた。朝食時には、早大野球部関係者らしき男性数人が食事をしていたので、凶々しくも声をかけ「立川稲門会の小林」と名乗った。(鶴海会長をご存じでした)こんな事があつたおかげで、コーラス本番では気分良く笑顔で歌う事ができた。この日、私の心の花はきつと少し大きくなったことだろう。

今年、54年次稲門会の立ち上げに関わったおかげで、様々な人と出会い楽しい時を過ごした。稲門祭運営委員としても、もちろん立川稲門会でも、出会いと交流の多い充実した時間を持った。新執行部の中で、幹事長という荷の重いお役目を戴いた。どれだけできるか分からないが、

# 立川稲門会に寄せて

澤井 武重

このたび広報委員会から立川稲門会について何か感想を、と依頼がありましたので、拙い文章ですがひとこと述べたいと思います。稲門会といえば、先の大戦に学徒出陣で派遣されたシンガポール及びサイゴンで、当地に勤務しておられた外交官、商社勤めの稲門の諸先輩たちから年一、二回スキヤキパーティに招かれ、軍隊の日々を慰め励まされたことを今思うと実に感無量です。

さて、立川稲門会が出来てもう三六年になるようですが、一度も参加したことがなく、大変申し訳ないと思っております。私は立川ライオンズクラブの創立メンバーで、入会して四五年、年令も大正十一年生れで87才の最古参となりました。立川稲門会のメンバーで現在当クラブに在籍している人はガバナーまで務めた森山勇さんや立川印刷の鈴木閣郎さんもいますが、鶴海会長も随分前に退会された元メンバーです。木村幹事長の父君とは今もクラブで親しくさせていただいています。

と、ころが私の場合は、ライオンズクラブの活動に熱心な余り時間に余裕がないまま、つい足が遠のいてこんにちに至りました。それでも私みたいに出席したことの無い者にも毎年送られてくる会報や稲門会通信、事業報告などを読ませていただいています。創立一二五周年記念事業募金の驚異的な達成や稲門祭に対する熱い支援、学生との交流、同好会その他の活動が盛んで、立川稲門会はよくやっつるな、頑張つてるなどの強い印象を受けております。それでこれまでの無関心のお詫びのしるしと何らかの足しにと、うさやかな気持ちで、寸志を寄贈させていただきました。最後に母校はもちろん立川稲門会のみならずのご発展を心から祈念申し上げます。(S18・専政)

立川稲門会通信49号に記載しました通り、澤井大先輩より立川稲門会に多額のご寄付をいただきました。|| 広報委員会

## 来年は校友会発足 一二五周年

昨年は早稲田大学が創立一二五周年を迎え盛大に記念行事を行ってきた。早稲田大学校友会も来年には一二五周年を迎える。一八八五(明治18)年発足以来、日本全国・世界各地に55万人の校友がネ

立川税理士法人  
 代表 村野俊輔 (S57・政経)  
 立川市柴崎町二丁目九村野ビル2F  
 TEL (042) 522-1895  
 FAX (042) 522-1895

㈱アイ・イー・ビー多摩  
 代表取締役 中村信 (S38・文)  
 立川市曙町二丁目一〇  
 TEL (042) 533-3333  
 FAX (042) 533-3333  
 Eメール info@iaibitama.com

株式会社 エルテック  
 代表取締役 長野長正 (S32・理工)  
 東大和市仲原一丁目三三  
 TEL (042) 566-1033  
 FAX (042) 566-1033

〒 榎本信行 (S33・法)  
 TOKYO 大樹法律事務所  
 新宿区新宿一丁目一〇三  
 太田紙製新館ビル八階  
 TEL (03) 3354-9661  
 FAX (03) 3354-1334

鶴海公認会計士事務所  
 代表 鶴海量良 (S37・政経)  
 立川市曙町二丁目三三  
 TEL (042) 527-1691  
 FAX (042) 527-1691

ットワークを広げている。校友会としても、これを記念して現役学生との交流をはじめ各種の催しを開催、さらなる会の発展と校友の絆を深めるべく熱い議論を重ねている。



# 展覧の日蓮の京 全国寺院のお宝集合 町衆文化の芸術品と二本立

錦織 文良

十月中旬の京都国立博物館で、日蓮宗が京都で命がけて布教活動をした経緯をおさらいし、京都に花開いた絢爛豪華な町衆文化を堪能してきた。博物館主催の「日蓮と法華の名宝展―華ひらく京都町衆文化―」である。

出展物は、全国の主な寺院や美術館、博物館、大学資料館などから集めた、国宝、重文を含むお宝ばかり二百余点だ。

## 自己破産

自己破産の申立てが増えてきている。私も、そんなケースを随分依頼されている。自己破産というのは、借金している人や会社が自分で裁判所に破産の申立てをすることである。昨年来の不況以来というわけではない。裁判所の破産部などは、盛況であり、職員は忙しく立ち働いている。

弁護士は、受任すると債権者に受任した旨の通知を出す。そうすると、債権者は、直接本人に取り立てが出来ないことになる。

依頼者の中には、サラ金や商工ローンなどの高利の金融機関から借りている人も多い。弁護士は、依頼者が高利金融から借りている場合は、まず所謂「過払い金」の返還請求をする。

展覧会の動機は、鎌倉時代の文永六年(一二六九)に、僧・日蓮が愛国の建白書「立正安国論」を執権北條時頼に提出してから七百五十年に当たるのを記念したものである。

日蓮宗は代々、京都を布教の中心舞台として栄えたが、十六世紀に一向一揆に法華一揆で対抗して敗れ衰退した。しかしその中で、強力な日蓮宗支援集団であった京

榎本 信行

これは、どういうことかというのと、金融機関が利息制限法以上の金利を取っていた場合は、その超過分の返還を請求するのである。元金はなかなか払えないので、長年にわたって利息を払ってきたという人が結構多く、過払い額も相当な額になるという場合がある。その差引で借金が減るのである。場合によっては、過払い金の方が多くて、金が返ってくることも少なくない。こうして、債権者に最終的な額の申し出をさせ借金総額を出し、債務者の財産をリストアップし、資産と借金を比べてマイナスならば、裁判所に破産の申し出をするのである。

破産をしても、悪いことをして破産したのであれば、「免責」

の町衆は、彼らの財力と自立自衛の精神をむしろ充実させ、安土桃山時代には、本阿弥光悦ら第一級の芸術家が、日本美術の極致を出現させた。

このように、立正安国論提起七百五十年が展覧の趣旨としても、これと一対をなす一級の芸術家、本阿弥光悦や尾形光琳、長谷川等伯、狩野永徳・探幽、俵屋宗達らの作品群をまとめて鑑賞できることはまれであり、とても見ごたえがあった。中でも私は、本阿弥光悦が筆を執った立正安国論の書写(重文)の、墨の濃淡が効いた枯淡で自由な筆致の美しさに感銘を受

## 健康ウォーキングのお勧め

松井 茂

私と競争との出会いは、もう三三年も前に遡る。中野にあった警察大学校に入校中、課外授業の一環として競歩部門が設けられており、講師としてお見えになった当時オリリンピックの競歩強化委員であった細川俊夫先生(故人)との接点であった。還暦を疾うに越されていた先生の若々しい姿、スピード感、力量感に溢れる歩きに魅了され、早速翌朝から訓練をスタートさせた。

先生から教示されたのは、まずになり、普通の生活が出来る。選挙権もあるし戸籍に載るわけでもない。ただ、クレジットカードなどは使えない。

けた。こうして、法華の名宝と一級の芸術家の作品群とを合わせるのと、あたかも二つの展覧会を見ているかのような豪華な雰囲気になることができた。最近の同種の展覧会の中では、出色の展示内容だった。

京都に関連する日蓮展は、神奈川県立歴史博物館でも十一月二十九日まで「鎌倉の日蓮上人 中世人の信仰世界」として開催している。時の政治の中心地鎌倉は、日蓮の布教の主舞台でもあった。こちらも当時の政治、社会情勢や宗教の興亡がわかり興味深い。(S 38・政経)

姿勢(フォーム)を一定に保つことだった。すなわち、第一に「胸を張り」第二に「背筋を伸ばし」第三に「あごを引き」、第四に「一直線上を歩くこと」であった。また両腕は前後に大きく振り、両足は内股を擦るようにし、踵から着地し、次に足指先で蹴るようにして前進するという原則だった。当初は身体全体に違和感があり、苦痛にも似た疲労が残ったが、一ヶ月も経過すると、自分でも驚くほど内燃機関が活発化し、壮快な

わりではない。破産後も立ち直つて、元気で商売をしている人も多い。だが、くれぐれも借金と保証人には気をつけていただきたい。(S 33・法)

社会保険労務士法人 木村事務所  
代表取締役 木村 辰 幸  
(S 63・社会)

労働保険事務組合 経営者多摩福栄会  
立川市砂町五丁目4番12号 H.Kビル4階  
TEL (0422) 5351300  
FAX (0422) 5351307

医療法人 社団 健医会  
西砂歯科医院

院長 浅谷 佳秀  
(S 62・法)  
立川市西砂町五丁目三七一八  
TEL (0422) 5311422

気分です生活できるように感ぜられた。このように早朝ウォーキングには幾多のメリットがあるが、第一に、その日の健康状態が判断できることが挙げられる。体調不良のときは、歩いていても体が自然と前に出ない。健康度を示すパロメーターとなる。第二に、フレッシュな早朝の香りを味わい森林浴を都会で満喫できる至福の時間が持てることだ。第三に、その日のスケジュールを確かめつつ目標設定も出来る等々思考回路が活性化するのである。

WHO(世界保健機関)でも、「健康とは単に病気ではないということではなく、社会的適応性を備えた状態をいう。」主旨の定義付けをしている。身心ともにバランス感覚を兼ね備えた、早稲田マンスとして地域コミュニティに貢献すべく、健康寿命を全うし、悔いのない生涯を幸せに送りたいと、心から願う今日この頃である。(S 38・法)



# 甲州古道踏破目前

原 健一（散策の会）

立川稲門会・散策の会が昨年2月から始めた甲州街道・古道の旅も11月26日には終着点・下諏訪に到着の予定。先月27日に街道の旧観が色濃く残る台ヶ原宿で江戸の雰囲気に触れた後、甲州／信濃の国境を越え葛木宿に到着した。17回目の歩行に当たる次回で45宿220kmの甲州街道・古道を踏破出来ると思うと今から胸が高鳴っている。

昨年は7回に分けて高尾・駒木野（日本橋から12宿目）から駒飼（笹子越えー33宿目）まで21宿・



# 史上初の三連覇に向けて突進

大上 保（ラグビーを愛する会）

いよいよラグビーシーズンが到来、9月13日の対成蹊大戦の初戦から順調なスタートを切り現在5連勝中である。当会も発足から54年を経過、例年10月の早慶戦、12月の早明戦そして1月の全国大学選手権大会を中心に応援にかけている。今年是非初の大学選

応援の参加者も毎回10名ほどになり、試合終了後は信濃町駅近くの居酒屋「山水」で勝利の美酒を味わっている。皆様の参加をお勧めしたい。  
大学ラグビーの仕組み（要約）と日本選手権大会までの流れをまづ記してみます。

80音を踏破、日本橋から高尾は省いた。その区間を厳冬期に歩こうと今年1月、日本橋で五街道の起点を確認し新宿までが旅始め。日本橋→新宿→調布→府中→日野→高尾の50音を5回に分けて3月24日までに歩き終えた。車両の通行の厳しい道路には江戸の面影を残すものは少なかったが、随所に史跡を残そうとする努力が見られたのは嬉しかった。また街が変貌している様子が時の流れの速さを感じながらの旅だった。  
4月から甲府盆地に。勝沼宿から見る春の南アルプスの美しさに比べ5月までに踏破した勝沼→上栗原→甲府の道中は車が多く味気なかった。9月から歩いた甲府→葎崎→台ヶ原（この間はバス→41宿目）→葛木では古の雰囲気の残る宿場や史跡に触れて足並みも軽かった。残るは葛木→金沢→下諏訪。距離的に一日で歩くのは辛い距離。途中を少し省き、一泊して高札場・甲州道中終点を目指すことにしたい。（S34・政経）

# 若い会員が加わり活性化

裕 寛（ゴルフ愛好会）

当ゴルフ愛好会も長年の念願であった、S40年代以降の会員募集に6人の応募者があり新会員となりました。この会の平均年齢もやっとなりながら若く？ なり大変よるこばしい事です。新入会員は次の通りです。和田秀雄さん（S44）・井上太さん（H2）・岩瀬英治さん（H2）・田中一正さん（S45）・長谷川英夫さん（S41）

卒）・松井茂さん（S38卒）以上6名です。  
本年度春期コンペは、6月14日ホームコース昭和の森ゴルフコースで行いました。今回は、4人の新会員参加で、発足以来初めてのサブライズが起りました。新会員である井上さんがナント！ 4アンダーの快挙を達成しました。脱帽です。2位はベテランの古川

さん、3位は出場すれば必ず上位をキープする小木曾さんです。秋期は10月28日で青梅ゴルフ倶楽部でコンペを開きました。ホームコースと違って良く整備された魅力あるむずかしいコースです。上位成績は、新会員の岩瀬さん優勝です。2位はまたまた前回と同様古川さん、3位は山尾さんで、中々手ごわいコースでした。  
恒例の早慶ゴルフは、三田会の事情で残念ながら今回は中止となりました。（S36・理）

# フラのある毎日

亀井 裕子（トーマン ワーヒネ）

フラはご存知のとおりハワイの伝統的な民族舞踊です。ちなみに一般的には「フラダンス」と呼ばれています。が、「フラ」はハワイ語で「踊り」という意味なので、私の通っているフラスタジオでは「フラダンス」ではなくて、「フラ」と呼んでいます。

ひとつ残念なのがフラを習い始めてから1度もハワイへ行っていないこと。来年こそは絶対行きたいと今から夫を洗脳しつつ、節約に励む毎日です。（H2・政経）

# 立川稲門会は楽しく活動しています

川稲門会の目的は会員相互の親睦を厚くして……とありますが、その活動多岐にわたっています。そのひとつが各種の同好会活動（それぞれの連絡は8頁に記載）、その一端を紹介します。また、新年会・観桜会・ビアパーティーなど楽しい行事もあります。お近くの校友でまだ参加されていない方がりましたら、この頁や稲門会通信48号（観桜会特別号）をお見せしてお誘ください。

もともと体を動かすことは大好きで、20年近くスポーツジムに通っているのですが、そこでフラに出会いました。新しくフラのレッスンが始まるというので何の気なしに参加したところ、その面白さ、奥深さにすっかりハマってしまい、もともと本格的に習いたいというには横浜のフラスタジオへ通うようになりました。  
一見優雅に踊っているようにみえるフラですが、実は結構運動量のある踊りです。ハワイの伝統文化に結びついた神聖な踊りでもあります。フラは下半身でリズムを取り、上半身で言葉表現するの





手権3連覇を達成したいものである。



(あいにく昨年の応援の際には記念写真を撮っていませんでしたので) 一年の応援の際の記念写真です。私の前には当時の世話人だった佐々木等さんの元気だった姿が。

①早稲田大学が属する関東大学対抗戦Aグループ(リーグ) 8校から5位までが全国大学選手権大会(全角の各リーグから16校)に出場できる。早稲田はすでに出場資格を得ているが、早慶戦が11月23日(月・祝)、早明戦が12月6日(日)に行われる。  
②全国大学選手権大会(トーナメント)は、12月23日に始まり、明年1月2日に優勝決定戦が行われる。早稲田が決勝戦に進出するようであれば、早稲田ラグビーを愛する会はもちろん応援に駆けつける。  
③日本選手権大会は、社会人6チーム、大学2校(前記大会の優勝校と準優勝校)が出場する。今期は明年2月7日(日)が第一回戦で、2月28日(日)に決勝戦が行われる。この大会にも早稲田が出

# 立川稲門会が地域貢献

たちかわ市民交流大学

広瀬 俊夫



「生涯学習からはじまるまちづくり、市民力による生涯学習の実現をめざす」立川市の基本計画に基づいて「たちかわ市民交流大学」がスタートした。平成19年4月、初代会長鈴木茂夫(S29・文)、大岩泰世(S33・理工)、中村克久(S36・政経)、伊藤暢子(S50・文研修)、広瀬俊夫(S39・文)、横幕玲子(賛助会員)が市民推進委員として、

ボランティアで参加した。立川稲門会会員の皆様に、積極的に講師をお引き受けいただき、次の講座を開催しました。  
「原剛の環境学ABC」原剛(S36・法)  
「錦織文良のさわやか文章教室」錦織文良(S38・政経)  
「家庭で活かすカウンセリング講座」坂田雅彦(S54・教育)  
「司馬遼太郎と歴史小説の周辺」和田宏(S40・文)

「子どもは何を求めているのか」平井芳栄(S36・教育) 平

## 立は先イおい

が基本です。手の動きの一つ一つに意味があり、手話的な要素を持

## ゲストも加わり稲酔の一夜

古川 剛久(稲酔会)

稲酔会は、さる10月29日(木)に第34回の会を、立川北口駅前の『がんこ』にて開催した。会場の都合で出席者は先着申し込み22名ということでも惜しくも出席出来なかった人もいるとか(?)。

に招き、多摩稲門会から川面忠男・白井昭男・長張紘一さんの特別参加があった。挨拶もそこそこ、乾杯を合図にそれぞれ好みの酒をしつかり味わった。

鷺海量良・亀井裕子両世話人以下、17人の会員に加え、口元周策(S47・教育)校友会事務局長と江口まゆみ(H1・文)をゲスト

ゲストの江口さんは「酔っぱらいツアー」を名のり世界の地酒を飲み歩く旅を続けて、雑誌記事連載だけでなく酒に関する著書『女二人東南アジア酔っぱらい旅』(光

成22年6月予定 交流大学のたぐさんの講座の中で、特に多くの人に学んでいただき、大好評でした。受講生としても、立川稲門会会員、ご家族の皆様が、大変ご熱心に様々な講座にご参加いただいております。私たち推進委員は、講座の企画から募集、運営まで担当します。定員まで人を集めるのが大変な中で、皆様方のご協力本当にありがたく思います。いくつになっても学ぶ人たちの生き方に教えられ、少しでもお役に立てることに感謝しております。

20年11月23日(祝)早慶戦・6名、12月7日(日)早明戦・7名、平成21年1月10日(土)全国大学ラグビー決勝戦・8名。(S38・教育)

## 知の木々舎

### ブログが大好評

受講をお願いいたします。本年、鈴木・大谷・横幕さんは退任されましたが新たに米田典弘(H6・社)さんに入っていたいただきました。立川稲門会として、少しでも地域に貢献できればと念じております。(S39・文)

立川稲門会通信・49号でもお伝えした、賛助会員の横幕玲子さんが船出させた『知の木々舎』のブログはその後大好評で推移している。顧問格の鈴木茂夫さんの「第五福竜丸は平和をめざす」をはじめ、「心の小径」に「生と死をみつめて」を錦織文良さん、「文芸

美術の森」に「司馬遼太郎と吉村昭の世界」を和田宏さん、「連句漫語」を中村信が連載の他、鈴木潤郎さんの「こ息・武さんが「ふるさと立川」に「ザ・サウンド・オブ・オールデイズ・イン・タチカワ」を連載している。  
鎌倉浄智寺閑栖の朝比奈宗泉さん、チェーホフ研究家の中村信幸さん、前立川市長の青木久さん、立川文化のことならこの方の三田鶴吉さん、コピーライターの多比羅孝(実は中村信さんのコーセー化粧品時代の先輩)さんなど30人を超える豊富な執筆陣が揃っており、いま文化系のブログでは他に追随を許さぬ、月に一万二千以上のアクセスを数えている。





# 早稲田大学総合研究機構 研究成果発表会に出席して

長野 長正

総合研究機構が一九九九年に発  
足して今年で十周年、二〇〇五年  
に第一回研究成果報告会が小野梓  
記念講堂で行われてから毎年報告  
会が行われている。今年も十周年  
記念シンポジウムとして第五回目  
の研究成果報告会が十一月十一日  
に開催された。

テーマは「地球環境問題と自動  
車・同部品産業の課題」として経  
済省、早稲田大学、日本自動車研  
究所、国際協力銀行、(株)デンソ  
ーの研究室の先生方が日頃の研究  
課題について現況と今後の研究報  
告を行った。最後に早稲田大学日  
本自動車部品産業研究所長小林英  
夫先生の司会により「電気自動車  
か、ハイブリッド車か？」のテー  
マでのパネルディスカッションを  
行った。

第一回目は二〇〇五年環境エネ  
ルギー・温暖化ガスに関する多数  
の研究論文の発表と関連テーマの  
解説が行われた。以後二〇〇六年  
第二回目がロボット医療の福祉と  
論理。二〇〇七年第三回目は自由  
・進取の精神と反骨の系譜。二〇  
〇八年第四回は日本の国際戦力を  
考える。早稲田大学総合研究機構  
の先生方と日本産業界を代表する  
官学産各界の先生方がいつも五名  
程出席下さり、現況を報告下さい  
ます。私は篤海会長のご配慮で第  
一回から今年までの五回目迄総ての報

告会に出席しています。何時も参  
加者の最前列の席で先生方の発表  
を拝聴させてもらい、時には頓珍  
漢な質問をして先生方を困らせ、  
文化の情熱を感じたものです。

第四回は教育学部未来研究所所  
長桜井先生。会場に一平方分の棚  
を作ってストロマトライトで地球  
上に酸素を発生させたことで有名  
な藍藻を植えて、これから水素ガ  
スを探ればバイオ燃料として大事  
な穀類からアルコールを作らなく  
ても経済的に水素を作れるよう  
なるとの報告。

第二回のロボット医療福祉と論  
理では、論理の壁がある様な理論  
展開でした。私は昔から介護や臓  
器移植の問題を解決出来るのは論  
理の文化であると思っていたので  
大いに議論したいものでした。大  
切な肉親が「脳死です」と判定さ  
れたとき誰に何と云われたら「判  
りました。まだ体温が少し残って  
います。まだ体温が少し残って世  
の為、人の為に使って下さい」と  
返事出来ますか。提供者の論理な  
くして残された肉親の前で臓器を  
取り出せる医者がおりますか？  
日本の古来の歴史の中にこの解決  
の論理がある。いや、有ったと思  
っています。

第三回の自由進取の精神と反骨  
の系譜では田中正造の鉱毒事件で  
早稲田の学生たちが盛大な支援活



動を行っていたと云う当時の学生  
たちの反骨精神が報告されていま  
した。

鳩山内閣が炭酸ガス二十五%削  
減を提案して世界に大きな話題を  
呈しております。地球を月と同じ  
天体と考えれば昼は百度、平均温  
度マイナス三十度となっている筈  
ですが地球には水と空気が在るの  
で平均気温十五度昼夜の温度差十  
五度と人間が住み安い環境となっ  
ているわけです。水蒸気の保温度  
で月より四十度暖かくなっておる  
のですが今問題の温暖化ガスの保  
温力は大きくても七、八度、これ  
が炭酸ガス濃度〇・三五%の値で  
今後〇・四%迄増えると平均温度  
十五度が十七度になると考えられ  
ます。地球の降水量、台風、動植  
物の変動が発生して大変な事態と  
なるとゴア前副大統領も提案して  
いるわけです。海水温度が二十五  
度以上になれば海上に台風が発生  
し、二十三度以上では急激に勢力  
を増大して日本に近づいてくるの  
は我々の良く知ることです。水蒸  
気が大きな熱量を持ち又地球が冷

えるのを防止しているか？古人も  
良く知っていたのです。(文中の  
数字は私が暗算で行ったものです  
から文責は御容赦下さい)

自動車が発生する炭酸ガスが今  
度の第五回研究成果報告会でも大き  
な問題になったテーマです。日本  
の米作ではこれより更に強力な温  
暖化作用を呈するメタンガスが水  
田で多量に発生するのでこれも又  
一大問題となりつつあるテーマで  
す。私は群馬の百姓の出ですが「  
水田は止めて畑作にしろ」と提案  
して苦笑されております。これか  
らも持論を捨てないつもりです  
で宜しく。来年第六回の総合研究  
機構研究成果報告会、今から楽し  
みにしております。誰か、一緒に  
して下さいませんか。(S32・理)

- 宮野司法書士事務所**  
司 法 書 士 宮 野 孝 雄 (S57・社会学)  
昭島市中野町二七六番地一四  
TEL (042) 5461641  
FAX (042) 5461639  
携帯 090-8333-1804  
E-mail: m.nono@freemove.ocn.jp
- 建築設備設計事務所  
三井企画株式会社**  
建築設備士 小 林 和 雄 (S47・理工)  
立川市錦町四一五一  
TEL (042) 5261345  
FAX (042) 5221281
- 大下・広瀬共同会計事務所**  
税 理 士 広 瀬 明 夫 (S48・商)  
東大和市中央一五九七二  
TEL (042) 5621045  
FAX (042) 5621265

- 東京貿易株式会社**  
代 表 取 締 役 町 田 弘 (S35・法)  
中央区八丁堀二一三三  
TEL (03) 35557003

- 米田税務会計事務所**  
税 理 士 米 田 典 弘 (H6・社会)  
立川市高松町三一四一四〇ビル3F  
TEL (042) 5261263  
FAX (042) 5261261  
Eメール: 59801hkw@earthlink.net

- 志村エステート株式会社**  
取 締 役 志 村 順 子 (S40・文)  
立川市富士見町四一六一  
TEL (042) 5210611  
FAX (042) 5210612

- 多摩中央葬祭株式会社**  
代 表 取 締 役 森 山 勇 (S37・政経)  
立川市錦町四一八一  
TEL (042) 5251130  
FAX (042) 5251044

- 立川駅のお弁当  
株式会社エヌ・アール・イー中村亭  
代 表 取 締 役 中 村 克 久 (S36・政経)  
TEL (042) 5241201  
FAX (042) 5261260

- 人材育成・社員研修  
㈲オオイス広瀬  
代 表 取 締 役 廣 瀬 俊 夫 (S39・文)  
立川市西砂町一六六一三  
TEL (042) 5311268  
FAX (042) 5311268



# 事務高便り

毎度のことながら月日の流れの速さを痛感する。あつという間の一年だった。

▼まず二〇〇九稲門祭である。

## 立川稲門会扱い 創立125周年記念事業募金実績

(平成21年10月29日現在)

区分	件数	寄付金累計	大学依頼額	達成率
校友	147	139,522,442円	16,150,000円	863.9%
団体	1	1,050,000円	0円	-
法人	6	10,600,000円	3,600,000円	294.4%
合計	154	151,172,442円	19,750,000円	765.4%

注1. 団体とあるのは立川稲門会年会費3千円のうち1千円充当7年分。  
 2. 寄付金累計額は募金総額200億円に対し0.75%。  
 3. 上表は父母、一般、大学教職員を除く。

## 新役員名簿

(任期2年 ※:異動、\*:新任)

名称	氏名
顧問	大岩 泰世 (S33理)
同	※鴛海 量良 (S37政)
同	※小林 和雄 (S47理)
同	高橋 芳樹 (S34商)
相談役	榎本 信行 (S33法)
同	鈴木 健一 (S36政)
会長	※志村 順子 (S40文)
副会長	※川端 博美 (S49法)
同	※木村 辰幸 (S63社)
同	※鈴木 一廣 (S38法)
同	錦織 文良 (S38政)
同	※広瀬 俊夫 (S39文)
同	※丸本 和代 (S40文)
幹事長	※小林 章子 (S54法)
副幹事長	亀井 裕子 (H02政)
同	佐竹茂市郎 (S51社)
同	柴 香里 (S61教)
同	田中 清勝 (S50理)
同	※波多野 進 (S38理)
同	※米田 典弘 (H06社)
業務幹事	*上野 竜造 (H13政)
同	※鈴木 弘次 (S31教)
同	中村 克久 (S36政)
同	中村 政弘 (S30政)
同	長野 長正 (S32理)
同	野宮 彬 (S21理)
同	碓 寛 (S36理)
同	*森山 善弘 (H01社)
同	*和田 宏 (S40文)
経理幹事	(兼)米田 典弘 (H06社)
監査	伊藤 暢子 (S35文)
同	*小木曾夏樹 (S35政)
広報委員長	中村 信 (S38文)
<事務局> 志村順子	
〒190-0013 立川市富士見町4-7-16	
Tel 042-522-4763	
Fax 042-522-0612	

前年に続き稲門祭本部事務局長に亀井裕子副幹事長、運営委員に小林章子幹事、実行委員に木村幹事長と佐竹副幹事長及び鴛海。大隈庭園内の東京三多摩支部模擬店「ふれあいのサロンド三多摩」の実行委員長に昨年同様佐竹副幹事長が兼務し、模擬店には当会の澤田賢一会員からアサヒビールの缶ビール四ケースを今年も寄贈していただいた。この模擬店は3年目であるが、東京三多摩支部の会員のみならず庭園を訪れる校友の憩いの場となっており、今年も大好評であった。店員として小林和雄、波多野進、米田典弘、碓寛、堤清、柴香里各会員が手伝った。この稲門祭には右に記したほかに野宮彬、広瀬俊夫、錦織文良、井川芳菜、小木曾夏樹、志村順子、伊藤暢子、町田弘、上野竜造ご夫妻

ら各会員(判明分)が参加した。また、稲門祭プログラム協賛広告に東京貿易㈱(代表取締役会長が町田弘会員)と医療法人財団福仁会(理事に鴛海量良)から提供していただいた。

▼創立一二五周年記念事業募金の最終結果を上に掲げた。個人147件の内訳、一億一千万円台1人、八百万台1人、四百万台1人、二百万台1人、百万台1人、五十万台3人、三十万台4人、二十万台2人、八万円以上二十万円未満44人、同未満89人。法人6件の内訳は、五百万円1社、二百万1社、百万円3社、同未満1社。このほか直接大学に寄付されなかった方でも、稲門会年会費を通じて、つまり三千円のうちの一千元を7年間続けて合計百五万円を寄付することが出来た。まさしく浄財というのにふさわしい。心から厚く感謝申しあげたい。

▼毎年のことであるが、会報は継続広告スポンサーである会員の温かいご理解とご支援により成り立っている。お名前は本号の名刺広告をご覧いただくとして、今回は十六人の会員から提供していただいた。

また、制作面でも引続き中村広報委員長のご子息、大(はじめ)さんにも大変お世話になった。

▼左の新役員名簿でお分かりのように会長に志村順子副会長、幹事長に小林章子幹事、副会長に丸本和代、川端博美両幹事が就任。副幹事長には柴香里、亀井裕子が留任。全国の地区稲門会で唯一、会長と幹事長を女性が占める布陣となった。しがらみや無意味なきたりに促らわれず、ワセ女の意気込みと心意気を満天下に知らしめていただきたいと思います。大いに期待したい。

▼会長交代に伴い、別掲の役員名簿に記載のように事務局も新会長のもとに変わる。昭和五〇年秋の第二回総会に出席して以来、稲門会活動は三十年を優に超える。事務局も前任会長の榎本信行相談役のときから担当しているのが丁度十年となるが、そのずっと前から資料作りやコピーや名簿管理をやっていた。

有能なアシスタント亀井裕子副幹事長の協力を得て稲門会日本一の事務局を！と気張ってやってきましたが、何かと至らない点多々あったかと思う。この場を借りてお詫び申し上げるとともに、長いあいだ惜しまずいただいた会員各位の暖かいご支援ご協力に心から深く厚く感謝しながら、筆ならぬキーボードを握ることとしたい。どうも長い間ありがとうございました。(鴛海量良)



早稲田大学校友会東京三多摩支部大会は、昨年の十一月に立川・国立支部の主幹で開催された。その詳細を「早稲田学報」六月号より転記、左に報告いたします。

## 東京三多摩支部二〇〇八年度支部大会

11月24日、「立川グランドホテル」にて東京三多摩支部大会が開催された。本年度は立川・国立支部が主幹であり、木村辰幸支部幹事長(立川)の司会で開会。まず、鷺海量良支部長(立川会長)が挨拶、三多摩支部結成以前の三多摩稲門連合会大会から数えると通算30回目の大会になると、この大会の意義にふれた。ついで白井克彦早稲田大学総長の来賓挨拶では、①08年度稲門祭では志村順子・立川副会長が委員長を務めてくれたことへの謝辞、②早稲田大学の現

状、今後の大学のあるべき姿、③大学間競争・国際化の実現のためにも校友会の協力をぜひあおぎたいなどと語った。さらに、本多聖治校友会常任幹事・理事の来賓挨拶があった。

神山征二郎・映画監督の「『ラストゲーム 最後の早慶戦』を監督して」の演題で記念講演があった。志村順子副会長が閉会挨拶を行った。木村辰幸の司会で続いて懇親会に移り、山台弘之・国立副会長の開会挨拶。立岡幸夫・東京都23区支部長(墨田稲門会会長)



## 本年度支部大会は八王子で開催

さる11月8日、本年度の東京三多摩支部大会が、八王子早稲田会・日野稲門会の主幹で京王プラザホテル八王子にて開催された。露木筆子副会長(八王子)の司会で開会。松村光雄支部長(八王子)が支部長挨拶で始まった。

来賓挨拶。西村弘前三多摩支部長の乾杯で歓談に入った。フラダンスショー、63年ぶりの邂逅紹介、

演奏などもあり、全員による「早稲田の栄光」、早稲田大学校歌が斉唱され、石井昌浩国立会長の閉会挨拶ですべての日程を終えた。(出席者)白井克彦総長以下、早稲田大学5名、23区支部・三田会他3名、早稲田大学ハワイ民族舞踏研究会・早稲田祭運営スタッフの現役学生17名、支部会員82名、合計二〇七名。(中村信記)

## 佐々木等さんを偲んで

中村 克久

佐々木等さんを最後に見舞ったのは、亡くなる2日前の9月11日朝だった。病室に入ると眠っていた。しばらくして目を覚ました彼に「八丈島の波の音が聞こえた？」

と聞くと、かすかに頷いた。それ以上は何も語らず彼の手を握っていたのが最後だった。

10年ほど前の立川稲門会で元読売巨人軍経理部長という自己紹介で彼との交際は始まった。それ以前に同窓でかつ同年で同じ町会に住んではいたが都心の会社勤めと言う彼との付き合いはなかった。

俳句を勧め中村信さんの猿若句会に参加を促し、やがて彼は早稲田オープンカレッジの俳句講座を受講し本来持っていたのだからそ



の才を發揮した。

告別式で彼の同僚が披露した「会釈して曲がる蔵町朧月」というこの句の情感と感覚は実に鮮やかだと思ふ。敬愛する会社の先輩の墓参の帰りに、友人と一献傾けた夜だったのだろうか。

人生の価値は何か。その一つが「多くの人に愛された一生である」とするならば彼の通夜、告別式を通じて出席者の過半が読売関係者だったことが何よりも彼の人生の価値を表していると思う。それは長年の会社勤めが誠実で、多くの人に愛された証しでもあると思う。八丈の島民気質は物惜しみしな

い寛容さと言う。その島気質を立川稲門会、ゴルフ愛好会、散策の会で發揮しつつも積極的に参加してくれた。また早稲田ラグビー愛好会は彼の熱烈な母校愛とキャラクターによって立ち上げられたといっても過言ではない。

毎春、島の花フリージアを私の家内に届けてくれる優しさもあった。散策の後の飲み会で予算オーバーに待ったをかけて注文を取り消すあのこやかで優しい笑顔にもうこの世で会えない寂しさをどう紛らわしたら良いのだろうか。「句楽平等居士」が彼の戒名である。(S36・政経)

## 同好会連絡先

稲酔会	古川剛久	535-0717
立川散策の会	中村克久	527-3559
ゴルフ愛好会	江藤英彦	574-8835
駅伝同好会	小林和雄	526-3245
ラグビーを愛する会	大上 保	536-0940

## 編集後記

▼編集の大半は原稿集めにあった誤算がありました。そこで時間的には余裕をもって始めたはずの編集でしたが、意外に手間取りやつと終えました。広報委員をはじめ皆様の協力のおかげです。(信)

広報委員会 鷺海量良・小林章子・志村順子・長野長正・中村信子・錦織文良・原健一・古川剛久・米田典弘・和田宏(五十音順)制作・アート 中村大(アイ・エー・ビー多摩)

講演では、白井克彦早稲田大学総長が、これからの校友会活動の指針・抱負などを熱く語り、大会を終えた。次いで懇親会を行い、懇親を深め、「早稲田の栄光」「早稲田大学校歌」を歌いあげ、一日を終えた。

立川稲門会からは、鷺海量良会長の他、志村順子・錦織文良両幹事長、佐竹茂市郎副幹事長、川端博美・小林章子・中村政弘・長野長正幹事、高橋芳樹顧問(いずれも当時)、森山善弘・小松健一・中澤正美・中村信が参席した。